



大館市議会議長

中村弘美



あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、市議会の活動に対しましては、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、全国的に米消費の減少傾向が続いており、平成26年産米の価格が過去最低を記録するなど、本市においても、基幹産業であります農業に深刻な影響を与える事態となっております。市議会としても、農家が意欲を持って、将来にわたって安定的な稲作経営を展望できるよう、行政当局と連携して早急な対策を検討してまいりたいと考えております。

一方、10月には、第29回国民文化祭が秋田県で開催され、本市においてはマーチングバンド・バトントワールやゴスペル音楽祭などを主催事業として開催し、期間中は県内外から多くの方々が大館を訪れました。その相乗効果もあり、「本場大館きりたんぼまつり」は、昨年に続き過去最多を更新する12万人の人

出でにぎわいました。一昨年の秋田デスティネーションキャンペーン、昨年の国民文化祭と多くの方々に、大館の食・自然・文化などに触れていただく機会となりましたが、これを一過性のものとせず、リピーターとして何度も大館市を訪れていただくよう、官民連携して知恵を出し合った観光施策が求められます。

さて、昨年、大館市議会では、議会改革協議会において、議会基本条例制定を目指して協議を続けてまいりました。また、11月には大館市議会基本条例案についてパブリックコメントを実施いたしました。市民の皆様からいただいた貴重なご意見を参考としながら、本年4月の条例施行に向けて取り組んでまいります。

今後も、引き続き議会改革を推進し、市民の皆さんに信頼され、期待される市議会を目指してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

迎えた新年が、大館市にとって最良の年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。